

才能教育通信

新年を迎えて



会長 豊田 耕兒



同志の皆さん、新年明けましておめでとうございます。どうぞございます。

新しい年を迎えるという事は、私達にとつては新しいお子さんを迎えるということにもなり得るわけです。これから生まれて来る子供達に、ほんとうの人間の倅せを伝えたいものです。この人間的倅せとは？

これは長い年月をかけて多くの宗教家、哲学者、政治家、科学者、芸術家達が求め、説明、実践して来たことで、到底一口では言い現せないことですが、その根底にあるのは「真・善・美」ではないでしょうか。このうちの「美」が我々の分野だとしても、こと人間、特に子供に関する限り、もう二つの「真」と「善」とを差し置いて考える訳にはゆきません。我々の出す音の中にも「美」の前に、「真」と「善」があります。才能教育、即ちスズキ・メソッドが求めるのはこれです。そして、この音をもって我々の人生の癒しとしたいものです。我々の努力はまだ浅く、奥は深い。お互いに手を取り合って研究を続けて行きましょう。

平成十五年 元旦

新春に思う

常務理事 中嶋 嶺雄



正月二日の我が家では、恒例の新年会があって、私のゼミ(国際関係論)のOB・OGや留学生諸君が大勢集まってくれます。今年の正月も、四十名前後の諸君が来てくれた。近年は留学生諸君が多いのだが、留学生にとつて正月はあまり訪れるところもないらしく、我が家での正月をこのほか喜んでくれる。私は留学生諸君が来ると必ず新年の御屠蘇を振舞ってあげるのだが、屠蘇酒の意味を知っている留学生は殆どいない。そこで国語辞典を横に置いておいて、「屠蘇」の項を引いてもらうことにしている。

留学生のなかには日本人と結婚しているカップルも幾組があるが、この正月に来てくれた一組の五歳の男の子は、お母さんが台湾人で、いまスズキ・メソッドでヴァイオリンを習っているといつて、私を喜ばせてくれた。この三月のグラウンドコンサートにも出演するそうで、来年はヴァイオリンを持ってきて私と合奏したい、と積極的であった。

もう一組のカップルはお母さんが北京生まれの中国人であるが、三歳だという男の子は完全に中国語と日本語のバイリンガルで、中国人か日本人かを直感で判

月刊

発行日 毎月15日

発行所

才能教育研究会

©Talent Education Research Institute 2003

〒390-8511

松本市深志3丁目10番3号

電話 0263-32-7171

編集兼 発行人 給田英哉

振替00500-3-9368

一部 10円

断して相手次第で中国語、日本語を使い分けるという。大人になってからでは一つの外国語さえ話すのに苦労する人が多いのに、子供の言語能力は本当に素晴らしい。ある時このことに気づかれて才能教育の道を開かれた鈴木鎮一先生の偉大さを、改めて認識した新春であった。

常務理事 給田 英哉



明けましておめでとうございます。才能教育研究会が豊田新会長のもとで再発足してから三年が過ぎました。

鈴木先生の素晴らしい哲学に共鳴し、この運動に参加してきた私達は、豊田会長の下、今年もまた輝かしい未来のある子供達の為に、少しでも多くの人々がスズキ・メソッドに触れ、啓発される機会を作る努力をして行きます。

その為には常に先生方の弛まない指導者としての研鑽の努力と、マネージメントに携わる理事会や事務局が、お互いにその役割を分担して、会の発展の為に協力していくことが大切です。

広報委員会と事業委員会を担当する常務理事として、私は「才能教育通信」や季刊誌「才能教育」の内容充実のほか、今年には本部事務局の活動や東京事務所の新しい役割・位置付けをはっきりさせ、指導者が安心して指導にあたれるよう、事務局体制の再構築を進めたいと考えています。

また何といつても三月の卒業式、グラウンドコンサートは本会にとって最も大切な行事の一つであり、世の中に才能教育を知っていただく上でも大変に効果的